

定時制の灯を守ろう!

NO. 82

2005.4.19

守る会連絡会便り

都立定時制高校を守る会・連絡会

URL:<http://homepage3.nifty.com/save-teiji/>

連絡会事務局発行

多摩地区定時制 50名が不合格!!

3.27集会でも報告されたように、今年度の都立定時制高校入試第二次募集において、多摩地区だけでも応募者が募集定員を大幅に上回った学校が第四学区や多摩地区の学校に集中的に表れました。立川高校の34名募集に対し43名応募、福生高校募集35名応募43名、久留米高校募集30名応募40名などとなっています。

各学校の努力で多少応募定数を超えて入学許可をしても、とても収容できる数字ではありません。こうした事態を受けて守る会・連絡会の森代表は都教委に問い合わせをしました。都教委は全都的には入学できる枠が充分にあると回答しました。これは生徒の実態を全く無視したものといわざるを得ません。長時間通学が不可能な生徒も少なくないからです。都教委にこれらの生徒の実態を明らかにさせ、責任を明らかにさせる必要があります。

拡大幹事会のお知らせ

日時:

4月23日(土)

19:00~

会場: 日本教育会館
7F(都高教会議室)

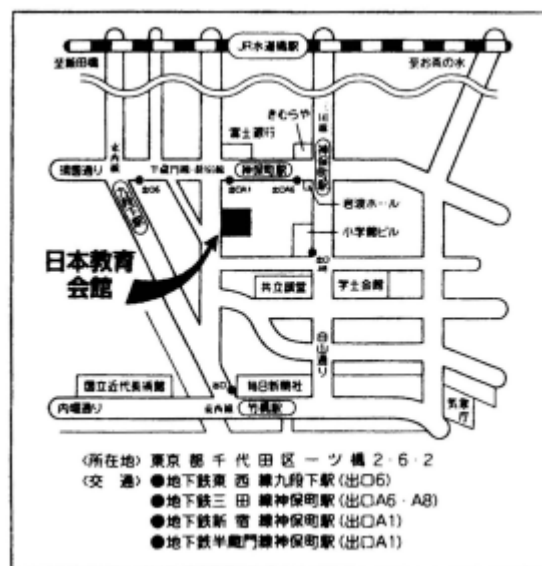
議題: 05年度入試分析

来年度募集停止の状況

都教委要請など

今年度の活動方針・体制等

守る会・連絡会総会について

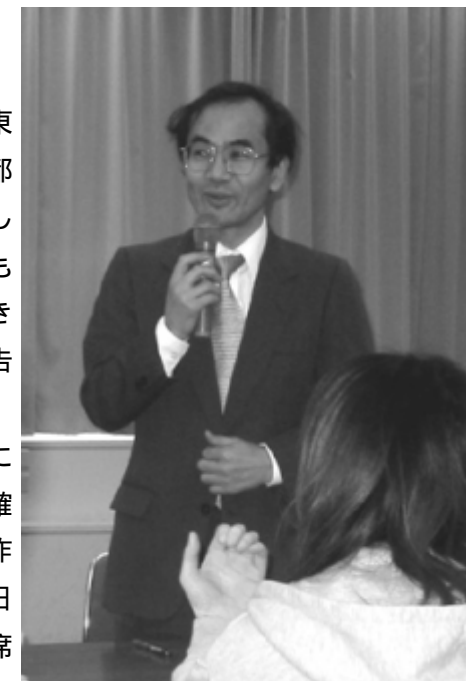


所在地: 東京都千代田区一ツ橋2-6-2
(交通) ●地下鉄東西線九段下駅(出口6)
●地下鉄三田線三田駅(出口A6・A8)
●地下鉄有楽町線三田駅(出口A1)
●地下鉄半蔵門線三田駅(出口A1)

「3.27定時制の灯を消さない集い」報告

森代表あいさつ

多様な生徒が通っている夜間定時制は必要なのに東京だけではなく、首都圏でも統廃合を進めている。都教委は生徒の会に対し私立なら退学だという暴言をしている。まさに教育行政としての姿勢を投げ出したものだ。新配置計画の進行によって募集停止が進んできている。国連子供の権利委員会は統廃合について勧告を出した。また東京弁護士会も意見書を出している。今年の入学者選抜の状況も局地的に倍率が高い倍率になっている高校が局地的に出てきている。都教委に確認したところ全体としては70%程度としている。昨年にもまして入学できない状況が進行している。今日は首都圏の幾つかの運動を進めているところから出席して頂いているので、運動の交流を進め連帯を広げていきたい。統廃合を押し返していく力にしたい。



都高教鈴木副委員長挨拶

守る会・連絡会主催の集会は毎年行われている。東京から国を変えるということで非常締め付けが強くなっている。統廃合を進めていくことがニーズだとしている。要はコストの問題だ。総武線沿線では江戸川だけになる。学校が一つあれば良いという発想をしている。昼夜間定時制は現実には全日制に通っていた生徒が入学している。その結果周りの夜間定時制の倍率が高くなっている。子供の権利条約のことが都教委の方針からなくなり、憲法を変えるための教育に変質させようとしている。入学式・卒業式のあり方も強制的に画一的に変えさせている。今年はそれを生徒に強制する対応が強まっている。生徒の就学保障を求めて共に闘っていきたい。

都高教内田定時制部長挨拶

東京の後期中等教育については、特徴がある。高校進学率が96%ということで計画されている。それを公立が6割、私学が4割と配分されている。これによって全日制の枠が決められている。公立は100%を超えて入学させているが私学は目標より少なく取っている。そのあふれた分を夜間定時制が受け入れてきた。夜間定時制は計画進学率に入っていない。都は総数に関しては収まっているとしている。偏在化があるのでそれに合わせて計画をしないので入学できない状況が出てくる。机上の数合わせ終始している。未曾有の統廃合で様々な矛盾が出てきている。



都立高校の今を考える全都連絡会三浦事務局挨拶

元々統廃合に反対する運動の中で生まれた。都立高校統廃合について昨年見直しを打ち出した。内容は秋川高校跡に予定されていた体育高校を中止した。これは自分たちの計画が破綻しつつあることを自ら認めたものだ。そして計画を変更することがあり得ることを示した。計画そのものを中止、変更させることもできる。

首都圏では7月には集会をすることになった。近県の人々とも交流しながら進められることを期待している。

中央線沿線定時制高校連絡会報告

杉並地区昼夜間高校に関連した基本計画検討委員会の昼間まとめの懇談会を開いたことから始まった。荻窪高校の狭い敷地で900人以上、6校の定時制と荻窪高校全日制が潰されることになる。都教委に申し入れをしてきた。荻窪高校が築40年になるし、バリアフリーにすることも困難がある。廊下も狭く一段高く段差があることや耐震の問題も浮上してきている。検査の結果は耐震に問題があることが出てきている。この5月から工事を始めるという。改築をしないで改修で済むのか問題がある。地盤も問題があることも出されてきた。ここに3階建てのプレハブを造るという。平成15年に開校することが前提に無理をして進めている。耐震問題をクリアしてから新しい学校を開校すべきだ。事実が保護者や生徒に十分に知らされていない。都に開示請求を20件も出してきた。計画そのものも6校も潰すとか無謀な計画だ。中野チャレンジがつくられると更に潰される。定時制を残すためにも耐震問題をこれからも続けていく。

総武線沿線夜間定時制教育を考える会報告

昨年大江戸に殺到した生徒のあおりで不合格者が64名も出た。各学校では守る会で闘ったが強行された。総武線沿線として夜間定時制を確保することで運動を進めてきた。結果的に江戸川区議会でも意見書は不採択になった。都教委との交渉では全都では入学枠があるということで生徒の利便性は無視している。昨年様には超えていないが来年度は6校が募停になるのでどうなるのか問題が大きくなることが予想される。新たな昼夜間やチャレンジの教育も実証しつつ運動を進めていきたい。

両国高校定時制を守る会報告

全日制が中高一貫校になるということで錦糸町から台東区に移転になるという。計画発表以来運動を進めてきたが、墨田区にある深川商業高に新たな移転地を求めて運動を進めて来た。これまで保守系の議員を介して都教委と話を進めてきているのでまだ運動は進めていきたい。7月に都議会議員選挙があるので、5月の議会が陳情を出す最後の機会になると思う

れる。中高一貫校と中高一貫校は別の問題なので、行政側の説明不足等を追求していきたい。定時制在校生の現校舎での卒業を求めるという署名をお願いしたい。現校舎から30分もかかる学校に移転するというのも酷いが、移動先の耐震検査もしていない。

九段高校を守る会報告

九段は地元には全く依存していない学校である。不登校の問題では地元には通えない子供も多い。九段には都の23区以外千葉等他県からも通ってきている。それで残してほしいという運動を進めてきた。その後募停を止める運動をしてきた。全日制もなくなるので難しい。現在は戸山等の募停を延期する運動を進めてくる。現実には募停はまだされていない。今現在いる生徒の就学条件を守る運動を進めていくことになるだろう。守る会としても計画中止と共に在校生の就学条件を保障する運動と進めていきたい。



パネルディスカッション

浦商3年原山

自分の中学時代はいじめにあい「さわやか相談室」に通っていた。卒業間際に高校を選ぶ時に浦商定を見つけた。見学に行った時に案内してくれたのが田中先生だった。両親と3人で見に行った。入学したら中学とは別空間だった。自分の中でも葛藤はあったが自分らしさを出せる学校だった。現在これから四年生になる。卒業してもなお勉強する場がある。仲間や教職員がいる。年齢には関係なく話し合える友だちがいる。自分の心が殻に閉じこもった状態だったが、浦商で殻を破れた。浦商定での部活で太鼓部がある。その太鼓部ひびきが4月の3日に単独講演をさいたま市文化センターで行うのでご参加下さい。



浦商田中先生 埼玉県の夜間定時制を守る会事務局長33校ある定時制を13校に大幅に減らす計画、まず3校がなくなる。更に次の計画が発表させる。首都圏の交流を深めていながら定時制高校の大切さを広めていきたい。埼玉のことは他の参加者からも報告されると思う。

川崎市立生徒の会梅井 生徒のほとんどは定時制の統廃合のことは知らない状況がある。先生も余り意識がないので生徒にはほとんど話していない。昨日集会があり、守る会の活動を

報告したらほとんどの生徒が知らなかった。5校を2校に統廃合するという方針を市教委が発表した。通いやすさから無理があり、請願を出した。今月の教育委員会で委員が通い得ない生徒が出るのではないかという意見も出された。5校を2校にという言葉は削除されたが市教委の姿勢は変わっていないので新検討委員会がどういう結論を出すかこれからだ。



川崎市民の会

元橘高校教員で今市民運動としてやっている。5校を2校という方針が出された時市内で請願署名をして17千の署名を提出した。当時の市の教育委員は3人が大学教員、弁護士などが任命されていたので5校を2校にという内容では振興計画案が通らないと判断し市教委が5校を2校にという部分を削除して振興計画を通した。検討委員会ができたがその中では定時制関係者がほとんどいないので、入れろという請願を通した。これで委員会の状況が変わり8回予定されていたものが13回開かれた。最終案は組合の代表と保護者の代表がまとめの起草委員になり、市教委にとって望ましくない報告が出された。今回同様の検討委員会をつくって再度検討すべきだとした。

千葉より良い教育をめざす草間

独立校1校と夜間16校を11校にする。松戸南高校を潰し三部制定時制をつくるという。生徒数は横ばいなのに減らすという。署名を集めている。知事にいうと県教委に任せているといわれ、教育長は県教委に聞いてくれといわれる。策定されても運動を続けていきたい。

フロア発言

*文京定生徒 私は2000年度に鷺宮高校に入学し、一年で中退した。その後4年たってから去年から鷺宮高校に入った。生徒は十人十色でガラスの心を持っている。先生方も努力している。生まれも育ちも韓国なので日本語は上手くない。質問をすると必ず答えてくれる。先生方が努力しているのに自分が努力しないと失礼だと思い。2学期に荒川高校に引っ越したので文京高校に転校した。勉強することは沢山ある。定時制がなければどこに行けるのか鷺宮の時は自転車ですら5分程で通学できた。近くにあるからこそ通えるのです。遠くなれば行けなくなる。十代の若者は国の宝だ。そういう若者を切り捨てるのは理解できない。統廃合などを知らせないのは絶対許せない。私もできることは何でもしたい。将来の日本を背負う若者を切り捨てるのは許し難い。政治家とは弱い者の見方でなければだめだ。

*千葉高校定時制2年生 県教委は私たちの声を聞いてくれない。タウンミーティングで堂本知事に意見を言った。何であんな生徒たちを連れてきたのかと怒っていたようだ。先生も運動を進めているのは一人だけで後の先生は圧力があるのか何も言わない。



*文京高校定時制2年生 子供が退学処分を受けて取り消し訴訟をやっている。募集停止になっている。執行停止が取れているが進級させないといわれている。原級留置で新一年を募集しないところでお知恵があればということも教えてもらえればと思う。

*江戸川区松江5中の教員 昨年3年生の担任だった。全日制進学率が80%台だった頃以来だ。大江戸高校に全日制に入っていき生徒が入ったので、定時制があふれた。中学の教員もこうした事態は知られていない。江戸川が1.29倍になっている。他の地域でも同様のことが起きそうだ。都立しか経済的にいけない生徒も多い。最後には定時制に行けるという安心感があったがそれがなくなった。都教組の調査が行われている。中学校の運動も大切だ。横浜市立 資料を5校を廃校にして昼夜間定時制1校にする。4校が募集停止された。980人だった募集が減っている。県・川崎・横浜で定員を増やした。それでも100人以上の生徒が2次募集で落とされる事態がある。昼夜間は人気がありまだ3倍以上の倍率がある。横浜では神奈川定時制通信制教育を考える会を立ち上げて運動を進めている。首都圏集会を行っている。取材に来たNHKの記者は定時制のことは何も知らなかった。新宿高校定時制稲垣 荻窪高校に從來通ってきた生徒が通える訳はない。

九段高校守る会島村 進級できないので募集停止なので留年できない。個々の運動では難しいので連帯して運動していきたい。

原山 90名しか生徒はいないが統廃合にも頑張ります。

梅井 川崎でも財政難といいながら大きな音楽ホールを造ろうとしている。これからも運動を進めている。

市民の会 不合格者も出ているので頑張りたい。

千葉 これからも頑張りたい。

近藤副代表夜間定時制を潰さないという熱い心が伝わってきた。いろんな困難は予想されるが子供たちの学習権を守っていきたい。